第４号様式（第２関係）

木育活動計画

都庁森の幼稚園

１　本事業を利用する目的

|  |
| --- |
| 本園は昭和62年に開園し、開園当初より、「自然と親しみ、感性豊かな子どもたちを育てる」ことをスローガンに掲げ、様々な自然活動を行ってきました。  　今回、自然活動の中に木育という観点を取り入れることで、より子どもたちが自然を深い視点から見ることができるのではないか、より自然に親しみ、感性豊かになるのではないかと思い、本事業を申請しました。  　そのための具体的な取組として下記のものを予定しております。  ①　専門家を呼んでの講義  ②　手づくり紙芝居  ③　森林遠足  ④　木工教室  ⑤　園内の木質化  ⑥　近隣公園を利用した自然活動 |

※本事業を利用する目的を記載してください。また、本事業において今年度実施を計画している内容を上記例に従い、列記してください。

２　森林の役割や大切さを学ぶための取組

|  |
| --- |
| 森林には、木材を供給するのみならず、水や大気の浄化、地球温暖化や災害防止、様々な生き物の場など、多面的な役割を担っています。そんな森林の大切さを学ぶ取組として、以下のものを考えております。  ①　専門家を呼んでの講義  　　まずは、職員が森林の大切さについて学べるようにしたいと考えております。ついては、森林、木材利用の専門家にお越し頂き、講義をして頂ければと考えております。講義終了後は、職員どうしでディスカッションを行い、知識を自らのものとして定着を図ります。  ②　手づくり紙芝居  　　職員向けに行う講義を通じて得た知識を子どもたちに分かるように、手づくりの紙芝居を職員どうしで試行錯誤しながら製作していきたいと考えております。そして、完成した紙芝居を以て、子どもたちに森林の大切さを伝えることが出来ればと考えております。  ③　森林遠足  　　紙芝居は謂わば事前学習になります。紙芝居で得られた森林の大切さを肌で感じてもらうために実際に森林に遠足に行きたいと考えております。  　　森林での空気のきれいさや、多くの生き物に触れることで森林に親しみ、大切さを感じてもらうことができると考えています。 |

※森林の役割や大切さを学ぶために何を行うのか、またそれを通じてどのような効果を見込んでいるのかを「１　本事業を利用する目的」で列記した内容に絡めて記載してください。

３　木材の良さや利用する意義を学ぶための取組

|  |
| --- |
| 木材を利用することは、「切って」、「使って」、「植えて」、「育てる」という森林を循環させ、森林の機能を維持することに繋がります。木の良さ、そしてこの木材を利用する意義を学ぶための取組みとして、下記のものを計画しています。  ①　専門家を呼んでの講義  　　まずは、職員が木の良さや、木材の利用意義について学べるようにしたいと考えております。ついては、森林、木材利用の専門家にお越し頂き、講義をして頂ければと考えております。講義終了後は、職員どうしでディスカッションを行い、知識を自らのものとして定着を図ります。  ②　手づくり紙芝居  　　森林の役割や大切さを学ぶための取組でも記載しましたが、手作りの紙芝居を通じ、職員、子どもたちともに木材の良さや利用する意義を学べると考えております。  ③　木工教室  　　子どもたちが直接木を扱うことが出来る、木工教室を行いたいと考えております。木の温かみ、香りにふれながらも、木工の過程において、のこぎりや金槌等の取扱を学び、子どもたちの糧にしてもらえればと思います。  ④　園内床の木質化  　　子どもたちが直接木に触れ、その良さを普段から意識できるよう、園内の床の無垢の木で木質化を行いたいと考えております。無垢の木は温かみがあり、直接的に子どもたちがその良さに触れられるものと考えております。 |

※木材の良さや利用する意義を学ぶために何を行うのか、またそれを通じてどのような効果を見込んでいるのかを「１　本事業を利用する目的」で列記した内容に絡めて記載してください。

４　園児の保護者も参加する木育とするための取組

|  |
| --- |
| 木育関係のイベントを行うたびに、何故木育なのか、何故そのイベントを行ったのかということを園だよりなどを通じて、伝えることができればと考えております。  　また、上述した木工教室については親子参加型のイベントとして予定しているところであり、保護者の方にも木の良さを理解して頂く良い機会ととらえております。 |

※園児の保護者も参加する木育とするために何を行うのか、またそれを通じてどのような効果を見込んでいるのかを「１　本事業を利用する目的」で列記した内容に絡めて記載してください。

５　施設関係者が木育を学ぶ人材育成のための取組

|  |
| --- |
| 既に上記で記載しているところですが、本計画では、子どもたちに木育を学んでもらう前に、まずは、職員が率先して木育を学び、それを子どもたちに伝える形をとっております。    ①　専門家を呼んでの講義  　　森林の大切さ、木材利用の意義を学ぶ。講義終了後は、職員どうしでディスカッションを行い知識の定着を図ります。  ②　手づくり紙芝居の製作  　　講義で身に着けた知識をもとに、子どもたちにそれらを伝えることのできる紙芝居を制作します。身に着けた知識を整理するとともに、子どもたちが呑み込めるような形にするにはどうすれば良いのかを考えることで、今後の木育につなげたいと考えております。 |

※施設関係者が木育を学ぶ人材育成のために何を行うのか、またそれを通じてどのような効果を見込んでいるのかを「１　本事業を利用する目的」で列記した内容に絡めて記載してください。

６　施設の周辺にある身近な自然を取り入れる工夫

|  |
| --- |
| 本園は東京都庁をはじめとする高層ビル群に取り囲まれた立地でありますが、新宿中央公園が徒歩５分程度の場所にあり、幸いにも四季折々の自然に接する機会が与えられております。  この立地を活かし、積極的な自然活動を行っていきたいと考えております。現在でも、園児たちのお散歩のコースで新宿中央公園には行っているところですが、木育という概念を新たに取り入れることで、園児たちがより積極的に自然に親しめるようになるのではないかと考えております。  特に、別途予定しているワークショップで使う木材や、木の実と実際の自然の中でのそれらの姿を結びつけることで、より自然に対する視野を子どもたちが広げることに期待するところです。 |

※施設の周辺にある身近な自然を取り入れる工夫として何を行うのか、またそれを通じてどのような効果を見込んでいるのかを「１　本事業を利用する目的」で列記した内容に絡めて記載してください。

７　継続的かつ実効性のある木育活動計画とするための取組

|  |
| --- |
| 今年度実施予定の木育活動を契機として、次年度以降も引き続き木育活動に取り組んでいきたいと考えております。具体的には、下記のものを考えているところです。  ①　職員の更なる育成  　　子どもたちに木育を広めるには、まず大人たちが木育について知ることが大事だと考えております。次年度以降の一層の木育の深化のために、専門家を呼び、職員向けの研修をしようと考えております。  　　また、研修後は、職員会議を開き、その中で研修の内容について、話し合い、今後のより良い計画の策定につなげたいと思います。  ②　木工教室の実施  　　今年度購入する予定の、木工用の工具を活用し、次年度以降も継続して木工教室を実施していきたいと考えております。木工教室については、親子参加のイベントとし、子どものみならず保護者の方々も木に親しんで頂ければと考えております。  ③　内装の手入れ  　　今年度木質化する予定の床については、子どもたちに定期的に雑巾がけをしてもらおうかと思っております。雑巾がけしてもらいながら、より木質化した床を意識してもらうことで、一層、木を子どもたちに意識してもらうとともに、ものを大事にする心遣いを身に着けて欲しいと考えております。 |

※次年度以降、継続してどのような木育活動を行って行く予定かを記載してください。

８　その他取組

|  |
| --- |
| 今回、計画の中で園内の床を木質化したいと考えております。木質化が完了した後は、他の園の方向けに見学会を行い、木の良さを実感してもらいたいと考えております。  　また、年に１回ではありますが、地域の方にも開かれた「秋祭り」を開催しています。同じく、園の様子をご覧頂き、木質化された床を踏みしめ、木の良さを実感してもらえればと考えております。 |

※そのほか、記載したい事項があれば記載してください。

※　上記項目に加え、計画している内容がある場合等は、本様式に追記、または書類等を添付すること。